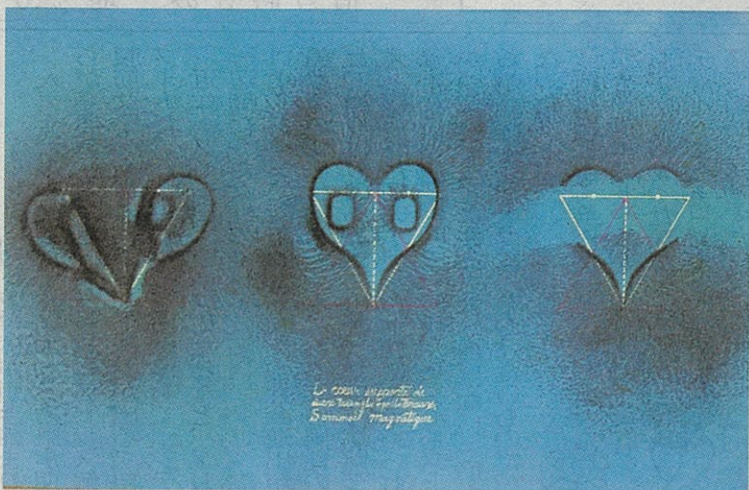


文化・芸術



[Magnetic sleeping]

1968年、砂鉄・紙
個人蔵

中西夏之 (1935~2016年)

大川美術館企画展から

《名画の扉》

鮮やかな青に浮かぶ、く時の身体の動きを重
ハート形が三つ。形 視し、砂鉄をまく手の
作っているのは砂鉄で 動きなどを詳細にノ
す。分裂したり内容物 トに書き記しました。
が消し去られたりと動 自身の作品を見る人に
きのあるハート形に対 対しても、「そこに」あ
し、赤と白の線で描か るもの」を読もうとす
れた正三角形は整然と るのではなく、私が平
組み合わされ並んでい 面を前にして繰り返し
ます。 ていた動作を、今度は
まるで砂鉄が集まっ 観る人が同じように絵
てくる目印かのような の前で繰り返し返してもら
に、常にそこにある不 いたい」と述べていま
動の正三角形。その上 す。
をさざ波立ちながら寄 中西が砂鉄に託した
せ集まる砂鉄は、金属 生命の痕跡をぜひ間近
であるのに、生命力す にご覧ください。
ら感じさせます。

中西夏之は、絵を描

(池田)